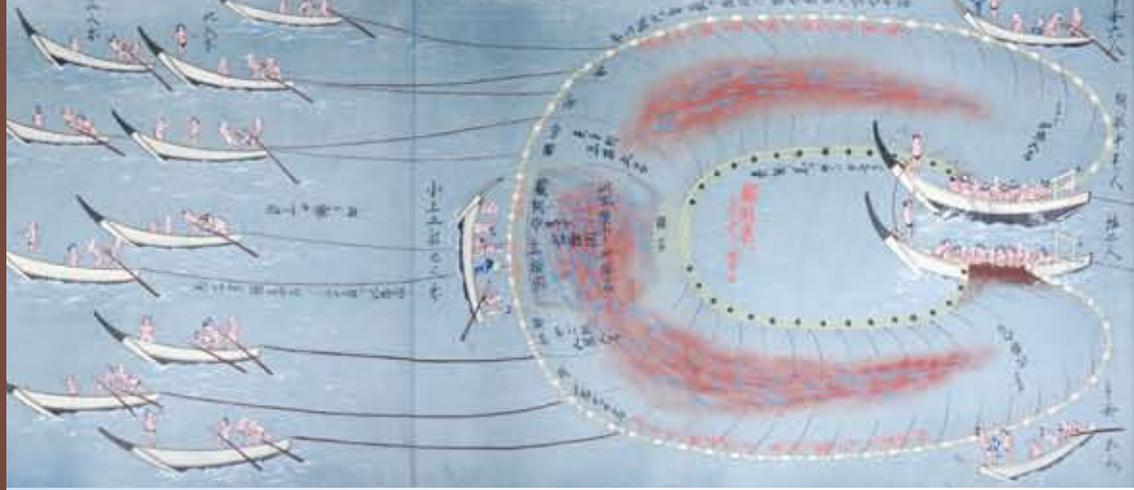


国際常民文化研究機構

第1回国際シンポジウム

海民・海域史からみた

人類文化



Human Culture from the Perspective
of Traditional Maritime Communities



開催日時：2010. **3/27** (土) 10:00 ~ 17:30
3/28 (日) 10:00 ~ 17:00

会場：神奈川大学 横浜キャンパス 16号館 セレストホール

参加自由
申込不要

第1日目

第I部 国際シンポジウム「漂うクジラー“ヒト”・“カミ”・“自然” 共生の試金石一」

基調講演

10:30 ~ 12:00 C.W. ニコル「勇魚の人々」／作家・(財)C.W.ニコル・アフアンの森財団
秋道 智彌「鯨墓と鯨供養を再考する」／総合地球環境学研究所

パネリスト報告 13:00 ~ 16:30 (使用言語 日本語・英語 同時通訳)

総合討論 16:30 ~ 17:30 コーディネーター：小松正之 (政策研究大学院大学)／安室 知 (神奈川大学日本常民文化研究所)

第2日目

第II部 個別報告「海民社会と漁業—東アジア世界から—」

10:00 ~ 12:00 午前の部「捕鯨と地域社会」
コーディネーター：小島孝夫 (成城大学)／田島佳也 (神奈川大学日本常民文化研究所)

13:00 ~ 16:30 午後の部「海民・海域史への展望」
コーディネーター：中野 泰 (筑波大学)／安室 知 (神奈川大学日本常民文化研究所)

*内容につきましては、変更する場合がございます。

お問合せ／国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所

TEL: 045-481-5661(代) FAX: 045-413-4151 <http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>

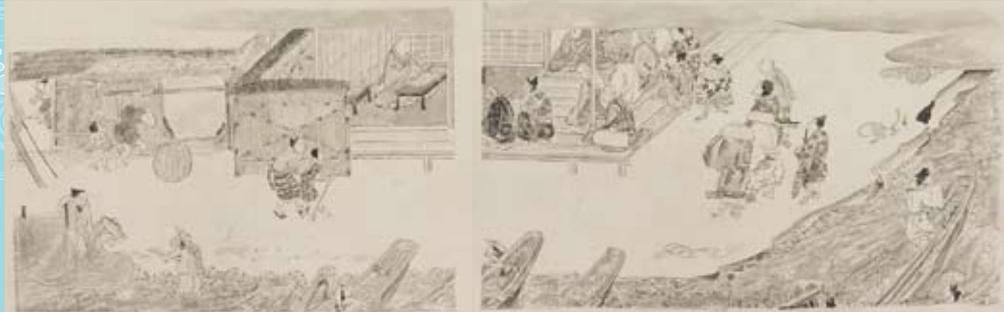


主催：国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所

後援：日本学術会議／地方史研究協議会 日本文化人類学会 日本民俗学会 日本民俗学会

海民・海域史からみた人類文化

日本常民文化研究所は1921年渋沢敬三が創設して以来、漁業制度史、民具研究を柱にその調査研究を重ねてきました。このたび、文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点」に日本常民文化研究所を拠点とする国際常民文化研究機構が認定されました。その発足にあたり従来の研究蓄積を踏まえ、地球面積の大部分を占める海域とそこに関わる人々、海民の生活文化に焦点をあて、人間と自然とのこれまでの相互関係を検証し、この21世紀、共に地球に生きる方途を考える機会として、国際シンポジウムを企画しました。



第1日目

趣旨説明 佐野賢治 神奈川大学日本常民文化研究所

第I部 国際シンポジウム

「漂うクジラー“ヒト”・“カミ”・“自然” 共生の試金石ー」

基調講演 10:30 ~ 12:00

C.W. ニコル 「勇魚の人々」作家・(財) C.W. ニコル・アフアンの森財団
秋道 智彌 「鯨墓と鯨供養を再考する」総合地球環境学研究所

パネリスト報告 (使用言語 日本語・英語 同時通訳) 13:00 ~ 16:30

コーディネーター：小松正之 政策研究大学院大学
安室 知 神奈川大学日本常民文化研究所

- Arne Bjørge 「ノルウェイ捕鯨の歴史と文化」ノルウェイ海洋研究所
- 江上幹幸 「インドネシア・ラマレラ村の捕鯨文化とその変化」沖縄国際大学
- Luis A.Pastene 「チリにおける捕鯨の歴史」(財)日本鯨類研究所
- 荒野泰典 「捕鯨と黒船ー人類史としての捕鯨史構築の試み」立教大学
- Stuart M.Frank 「ケンドールコレクション、ニューベッドフォード捕鯨博物館所蔵資料より」ニューベッドフォード捕鯨博物館
- 児矢野マリ 「国際法からみた捕鯨問題」北海道大学

総合討論 16:30 ~ 17:30

*内容につきましては、変更する場合がございます。

【参加自由・事前申し込み不要】

第2日目

第II部 個別報告

「海民社会と漁業ー東アジア世界からー」

午前の部 「捕鯨と地域社会」 10:00 ~ 12:00

コーディネーター：小島孝夫 名城大学
田島佳也 神奈川大学日本常民文化研究所

- 児島恭子 「アイヌの捕鯨文化」早稲田大学
- 中園成生 「鯨絵巻からみる捕鯨法」平戸市生月町博物館・島の館
- 櫻井敬人 「『鯨の町』と太地町立くじらの博物館の創設」太地町立くじらの博物館
- 田上 繁 「鯨の墓と鯨猟民」神奈川大学日本常民文化研究所

午後の部 「海民・海域史への展望」 13:00 ~ 16:30

コーディネーター：中野 泰 筑波大学
安室 知 神奈川大学日本常民文化研究所

- 伊藤康宏 「明治前期の博覧会と水産図解」島根大学・機構共同研究者
- 田和正孝 「伝統漁法石干見の保存と利用」関西学院大学・機構共同研究者
- 後藤 明 「『海人・海民』論と造船について」南山大学・機構共同研究者
- 李 根雨 「韓国明太漁業始末」釜慶大学校 (機構学術交流協定締結大学)
- 高 光敏 「大延坪島の定置網について」済洲大学校・機構共同研究者
- 韓 興勇 「漁業文化と観光漁業の関係ー中国舟山漁業文化の事例分析」上海海洋大学 (機構学術交流協定締結大学)

《問い合わせ先》

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1
国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所

Tel: 045-481-5661 (代) Fax: 045-413-4151
<http://icfcs.kanagawa-u.ac.jp/>

交通のご案内

- 東急東横線白楽駅下車徒歩13分
 - 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用 (東神奈川駅西口経由 約15分)
 - ①番乗り場36系統「菅田町」行または「緑車庫」行「神奈川大学入口」下車
 - ①番乗り場82系統「八反橋」行または「神大寺入口」行「神奈川大学入口」下車
 - 横浜市営地下鉄片倉町駅から横浜市営バスを利用 (約6分)
 - ②番乗り場36・82系統「東神奈川駅」または「横浜駅西口」行「神奈川大学入口」下車
- ※駐車場がありませんので、自家用車の利用はご遠慮ください。

